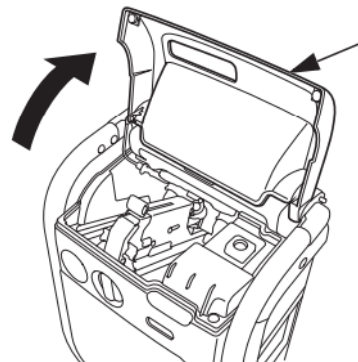


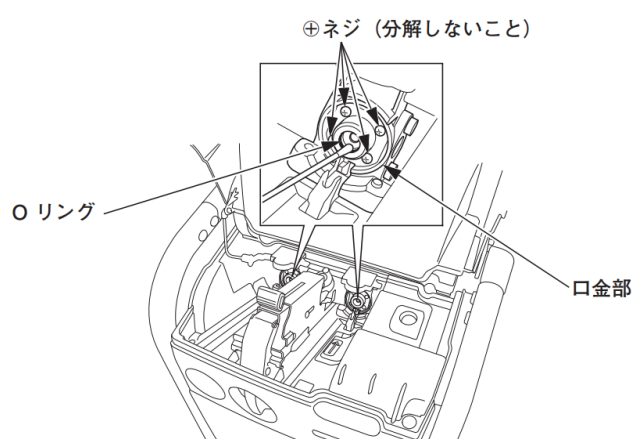
# B-2 使用前点検

## 1. Oリングの点検

①ボンベカバーを開ける



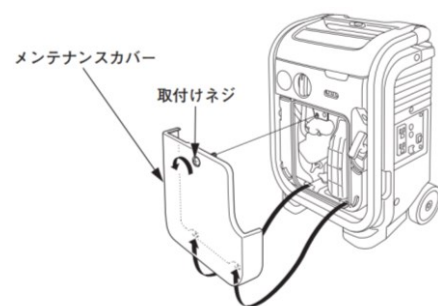
②口金部に泥や砂などの汚れが付着している場合は、Oリングを傷つけないように綿棒などで拭き取る。



## 2. エンジンオイルの点検

①エンジンオイルの点検は縦置き状態で行う。

②メンテナンスカバーの取付ねじを緩めてカバーを取り外す。

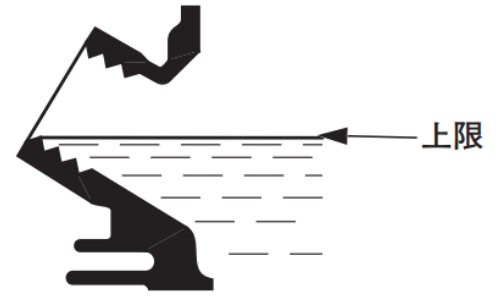


③オイル給油キャップを外し、オイル給油口の口元までオイルがあることを確認する。汚れや変色が著しい場合は交換する。  
(交換方法はマニュアル

**B-4 1. エンジンオイルの交換**を参照)



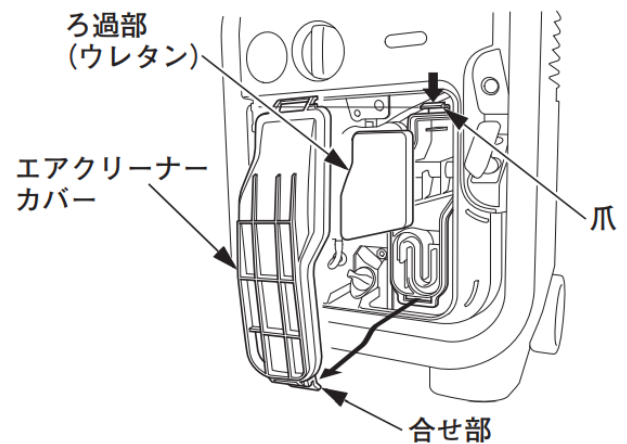
- ④少ない場合は新しいオイルを上限まで補給する。使用オイルは大阪府訪問看護ステーション協会より支給されたものと同じものとする。



- ⑤点検・補給後、オイル給油キャップを緩まないように確実に締め付ける。

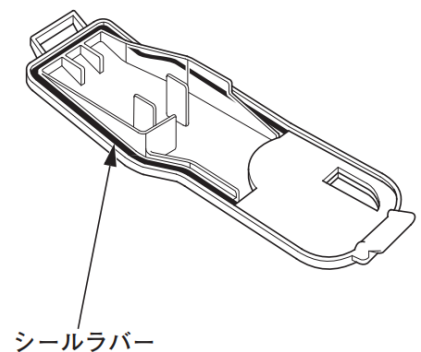
### 3.エアクリナーの点検

- ①エアクリナーカバーを外し、ろ過部の汚れ具合を確認する。汚れのひどい場合はろ過部の清掃をする。



(B-4 2.エアクリナーの点検参照)

- ②エアクリナーカバーに取り付けられたシールラバーに損傷がなく、確実に取り付けられている事を確認する。



- ③エアクリナーカバーを確実に取り付ける。取付は下部の合せ部を組付けた後、上部の爪を確実に組付ける。

- ④メンテナンスカバーを確実に取り付ける。